

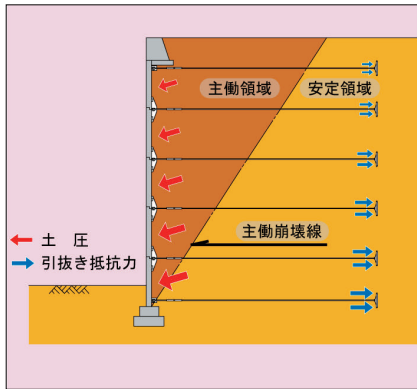
| | | | | |
|------------------|------------|-----------------|--------------|----------------------|
| <p>コンクリート製擁壁</p> | <p>種 別</p> | <p>盛土用擁壁用材料</p> | <p>商 品 名</p> | <p>多数アンカー式補強土壁工法</p> |
|------------------|------------|-----------------|--------------|----------------------|

■概 要

多数アンカー式補強土壁工法は、疑似二重壁構造による拘束効果によって盛土材料を補強する画期的な補強土壁工法である。その補強構造は、盛土前面に垂直な壁面材を設け、盛土内に設置したアンカープレート群に挟まれた盛土材料の拘束効果によって安定を保っている。

したがって、盛土材料としては砂質土系や礫質土系、さらに細粒分を含む土質材料においても支圧抵抗力の発揮の有無を検討して用いることができる。

■概要図



■特 徴

1. 優れた構造安定性

多数アンカー式補強土壁は疑似二重壁構造を有しており、疑似二重壁内の盛土材料は壁面とアンカープレートの拘束補強効果によって補強されている。

2. 現場発生土の有効利用

盛土の補強メカニズムより、盛土材料の適用範囲が比較的広く、現場発生土の有効利用が可能。

3. 精度の高い壁面調整

壁面調整は、補強材に取り付けられているターンバックルにより、壁面内側より精度の高い調整が可能。

4. ロックアンカー工

壁背面に岩盤がある場合、その岩盤に設置したロックアンカーの引抜き抵抗力で、補強盛土の安定を確保させる方法も可能。

5. 斜壁多数アンカー式補強土壁

用地の余裕のある計画箇所では、比較的圧迫感の少ない斜壁多数アンカー式補強土壁も用意している。

■設計・施工 指針など

- ・多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第3版 平成14年10月（土木研究センター）
- ・同（追記）第3版 平成24年4月
- ・NETIS登録番号 KT-980087-V
- ・擁壁工指針 平成11年（アンカー補強土壁として記載）

■用 途

- ・道路盛土工事（片盛土、のり先留盛土、両面壁盛土、橋台取付盛土、段積盛土など）
- ・盛土造成工事（片盛土、のり先留盛土など）

■施工事例

橋台取付盛土



段積盛土



斜壁多数アンカー式補強土壁



多 数 ア ン カ ー 式 補 強 土 壁 協 会

事務局 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦 岡三リビック(株)内
TEL 03-5442-2600 FAX 03-5442-1581

URL : <http://www.multi-anchor.jp>

E-mail : jimukyoku@multi-anchor.jp